

金沢美術工芸大学公開講座規程

平成 28 年 6 月 2 日

規程第 98 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、金沢美術工芸大学学則（以下「学則」という。）第 55 条第 2 項の規定に基づき、公開講座の実施に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第 2 条 公開講座は、本学の教育研究を広く社会に公開し、社会人等の芸術に関する教養を高め、芸術文化の向上に資することを目的とする。

(定義)

第 3 条 この規程において「部局」とは、美術工芸学部（大学院美術工芸研究科を含む。）、教育研究センター、国際交流センター、**社会共創センター**、美術工芸研究所をいう。

(種類)

第 4 条 公開講座の種類は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 一般公開講座 当該部局において企画し実施する講座

(2) 委託による公開講座 地方公共団体、民間企業等からの委託を受けて実施する講座

2 前項第 2 号の委託による公開講座の経費は、原則として委託者が負担するものとする。

(実施計画)

第 5 条 公開講座を実施しようとする部局の長は、実施計画書を学長に提出し、学長の承認を得るものとする。

(講師)

第 6 条 公開講座の講師は、本学の教職員とする。ただし、必要がある場合は、学外の学識経験等を有する者を講師として委嘱できるものとする。

(単位の授与等)

第 7 条 法令等に基づいて実施する公開講座のほか、学長が単位の授与を認めた公開講座については、学長が単位を授与することができる。

2 前項の単位は、当該公開講座の所定の課程についての受講を修了した者で、成績判定に合格したものに授与する。

3 単位の計算方法については、学則第 34 条の定めるところによる。

(修了証書の授与)

第 8 条 公開講座において、所定の課程を修了したと認められた者又は所定の単位を修得した者に対し、修了証書を授与することができる。

(講習料)

第 9 条 一般公開講座の講習料は、学長が別に定めるものとする。

2 委託による公開講座の講習料は、原則として徴収しない。ただし、これにより難い場合は、委託者と協議し、学長が定めるものとする。

3 公開講座（委託による公開講座のうち講習料を徴収しない講座を除く。）の受講を認められた者は、講習料を納付しなければならない。

4 既納の講習料は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 公開講座の事務は、当該公開講座を実施する部局と連携して事務局が行う。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、公開講座に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成28年6月2日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。